



Title	WHOニュース 8月/9月/10月
Author(s)	
Citation	目で見るWHO. 2022, 79, p. 24-29
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/88575
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka



独立委員会、パンデミック対応を国連総会で説明

独立委員会は、国連総会において、COVID-19 への対応と将来のパンデミックの予防策について加盟国に説明しました。

顧みられない熱帯病：ロードマップ 2030 達成に共通のデータと評価を

顧みられない熱帯病 (NTDs) のロードマップ 2030 を達成するためには、監視と評価の枠組みの重要性が指摘されました。

孤立と孤独：高齢者の健康

社会的孤立や孤独は、特に日本や英国で公共政策や公衆衛生の議題として取り上げられるようになりました。

抗菌薬耐性 (AMR) への行動を呼びかけ

「抗菌薬耐性に関する行動要請 - 2021」が発表されました。

ユニセフと WHO：母乳育児を守ろう

8月1日～7日は世界母乳育児週間です。

パンデミック時にこそ必要な医療サービスの継続性を

パンデミックの渦中でも必要不可欠な医療サービスの継続性を確保することは、世界的な課題となっています。

医療施設への攻撃で 700 人以上の医療従事者と患者が死亡し、2,000 人以上が負傷

新型コロナウイルス感染症 (covid-19) に関するニュース等の日本語版は、WHO神戸センターの「WHO公式情報特設ページ」をご覧ください。

2017 年 12 月以降 3 年間で、医療従事者、患者、施設等への攻撃によって 700 人以上の医療従事者や患者が死亡し、2,000 人以上が負傷しています。

ご注意：COVID-19 補償金宝くじ詐欺メール出回る

Capital Finance, Inc (ロンドン) を名乗った詐欺メールにご注意下さい。

認知症の人びとと共生するための WHO ツール

これは、認知症に対する国民の認識と理解を高めるためのものです。

ギニアでマールブルグウイルス症発生

マールブルグウイルス症の発生をギニアで確認。

結核菌薬剤感受性検査の次世代製品性能

地域の検査センターにおける結核菌の次世代薬剤感受性検査の目標とする最新の製品性能を発表しました。

UHC 実現への道のり：2017 世界の進捗状況レポートから

UHC サービスカバー率指数は、東アジア (77) と北アメリカ・ヨーロッパ (77) が最も高く、サハラ以南のアフリカは最も低く (42)、次いで南アジア (53) となっています。

COVID-19 を対象とした 3 種類の既存薬の臨床試験開始

マラリア治療薬アルテスネート、白血病治療薬イマチニブおよびクローン病治療薬インフリキシマブの 3 種類の治療薬を用いた臨床試験 Solidarity PLUS を開始します。

WHO、Facebook、Praekelt が Covid-19 情報をモバイルで提供

WHO の COVID-19 情報を「Discover」と「Free Basics」を通じて、世界で最も弱い立場にある人々に提供しています。

WHO：COVID-19 後の臨床データと報告の標準化

「Long COVID」(コロナ後遺症) のデータ収集と報告を合理化する課題に取り組んでいます。

2021 年国際青少年デー：思春期と青少年の性と生殖の健康

性と生殖に関するデータを要約した「国別プロフィール」を発表しました。

新型コロナウイルスの起源と WHO 声明

すべての政府が新型コロナウイルスの起源に関して政治問題化することなく調査を加速するために協力すること、パンデミックの可能性のある将来の新興病原体

注) 本サマリーは、WHO 発信情報のインデックスとして役立てて頂くよう標題及び冒頭部分を仮訳しているものです。詳細内容については、QRコードを利用して、日本WHO協会のホームページ経由で、ニュースリリース、声明、メディア向けノートなどの原文にアクセスできます。



に対する共通のフレームワークを開発するために協力することを呼びかけています。

コートジボワールでエボラ出血熱発生

コートジボワールで 1994 年以來となるエボラ出血熱の感染例が確認されました。

顧みられない熱帯病：医療提供における安全性マニュアル

顧みられない熱帯病 (NTDs) のための無料医薬品の恩恵を受けている人々の安全性を、医療従事者がより適切に管理運営するためのマニュアル。

コロナ変異株対応に 77 億ドル資金協力の緊急アピール

ACT アクセラレーターは、変異株への対応などで新たに 77 億ドルの資金協力について緊急アピールを行いました。

気候変動と健康に関するファクトシート (国連)

気候変動と健康に関するファクトシートが国連から発表されました。

偽情報シグナルの検出 (論文)

COVID-19 のためのソーシャルリスニング・パブリックヘルス・タクソノミーの開発について記載した WHO の新しい論文が発表されました。

ポリオ、国際的に懸念される緊急事態を継続

依然として「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態 (PHEIC)」であることに全会一致で同意しました。

WHO：新規病原体の起源に関する諮問グループ (SAGO) を新設

WHO は新規病原体の起源に関する諮問グループ (SAGO) を新設し、そのメンバーとなる専門家を公募しました。

世界人道の日：気候危機への対応

今年の世界人道デーは、人類が直面している唯一最大の健康上の脅威である気候危機への対応を掲げています。

食料生産に使用する抗菌薬の大幅削減を

グローバルリーダーズグループは、すべての国に対し、世界の食料システムで使われている抗菌薬の量を大幅に削減することを呼びかけました。

未治療の高血圧症患者は世界で 7 億人以上

30 ～ 79 歳の成人で高血圧の人は、過去 30 年間で 6 億 5,000 万人から 12 億 8,000 万人に増加し、高血圧患者の半数以上 7 億 2 千万人が必要な治療を受けていません。

WHO の活動報告書：国別ケーススタディ

本書は、GPW13 (第 13 次総合事業計画 2019-2023) の報告書の柱として、様々な国の状況において公衆衛生上を促進するための WHO の役割とその適応性に関する 80 以上の国別ケーススタディをまとめたものです。

子どもと青年の結核管理に関するガイドンス更新

子どもと青年の結核管理に関するガイドンスの重要な更新を発表しました。

ワクチン格差解消にむけた国際機関の共同声明

ほとんどの低所得国では、成人の 2 % 未満しかワクチン接種が完了していないのに対し、高所得国では 50 % 近くに達しています。

ワクチン接種のデジタル証明書発行の技術的要件

COVID-19 に対するワクチン接種のデジタル証明書発行の技術的要件に関するガイドンス文書を発表しました。

世界患者安全の日 (9 月 17 日)

今年のテーマは、Safe maternal and newborn care (安全な妊産婦・新生児ケア) です。

8月のWHOファクトシート改訂項目

以下のファクトシートが改訂されています。詳しくは当協会のファクトシートのサイトをご覧ください。

<https://japan-who.or.jp/wp-content/themes/rewho/img/PDF/library/newsrlsbk/who-releases-2021august>

- ・B型肝炎、・C型肝炎、・D型肝炎、・E型肝炎、・オピオイドの過量投与、・マールブルグウイルス症、
- ・リハビリテーション、・高血圧



世界抗菌薬啓発週間 (11 月 18 日～24 日)

2021 年の世界抗菌薬啓発週間 (WAAW) のテーマを「Spread Awareness, Stop Resistance」としました。

WHO のデータ強化・利用状況報告書「In Focus : 2021」

WHO 改革の一環として、「Division of Data, Analytics and Delivery for Impact」を設立し、最新のデータを駆使・活用する組織へと変革を進めています。

資源制限環境中での 24 の医療技術

COVID-19 パンデミックにより、インフラや資源が不足していますが、WHO は資源が制限された環境で利用できる 24 の新技術の概要をまとめました。

安全な中絶に WHO 勧告の実施を

安全な人工妊娠中絶と合併症への対処を改善するために、各国は WHO の勧告を実施する必要があります。

パンデミックの情報拠点をベルリンに開設

パンデミック及びエビデミックの情報拠点をベルリンに開設しました。

環境リスクから健康を守る 500 の行動

環境リスクによる死亡や疾病を減らすための 500 の行動をまとめた新しい資料を作成しました。

認知症の行動計画に立ち遅れる加盟国

認知症の人とその家族を支援するための国家政策、戦略、計画を持っている国は、世界でも 4 分の 1 しかありません。

G20 は公約を果たし、世界レベルの統治に責任を : WHO

WHO は、G20 保健相会合で、公約したワクチンの供給などを要請しました。

世界食品安全デーの年次報告書

WHO は食品安全を社会的課題の中心に据え、世界的に食中毒の負担を軽減するために活動しています。

緊急時における医薬品規制の緩和 (共同声明)

世界人道デーを記念して、パンデミックや増え続ける気候関連の災害時を含む緊急事態において、医薬品へのアクセスを容易にすることを改めて呼びかけています。

ジンバブエの抗菌薬耐性への取り組み

ジンバブエでは、この数十年、コレラと腸チフスの両方で、抗生物質に対する耐性化が大幅に進んでいます。

手指衛生改善のための介入コスト計算ツール

このツールは、2030 年までに家庭における一般的な手指衛生を実現するために必要なコストを国別に試算することを目的としています。

小麦粉の栄養素強化とモニタリングマニュアル

本マニュアルでは、栄養強化プログラムの行政面と家庭での消費段階におけるモニタリング指標を紹介しています。

健康を支える共通財の原資の確保

健康を守り維持し、社会として共有する財 (Common Goods for Health : CGH) は、社会全体の健康と福祉に不可欠なものです。

WHO : インフォデミック対応管理者を養成

WHO が偽情報、誤情報などの流言に対応するため、インフォデミック管理者の養成を 120 カ国 500 人以上に拡大しました。

世界患者安全デー : 出産時の母子のケア

毎日、約 800 人の女性と約 6,700 人の赤ちゃんが、出産前後に命を落としています。

WHO/ILO: 年 200 万人が労働により死亡 - 長時間労働が最大のリスク

注) 本サマリーは、WHO 発信情報のインデックスとして役立てて頂くよう 標題及び冒頭部分を仮訳しているものです。詳細内容については、QRコードを利用して、日本WHO協会のホームページ経由で、ニュースリリース、声明、メディア向けノートなどの原文にアクセスできます。



ILO の共同推計によると、2016 年に仕事に関連した病気やケガで 190 万人が死亡しています。

モバイル技術と口腔衛生

「口腔保健のためのモバイル技術：実装ガイド」では、モバイル技術を用いて、従来の口腔保健の取り組みや口腔保健システムの対応を補完する方法が説明されています。

子宮頸がんの啓発と予防を訴える World GO DAY

2019 年に制定された「World GO Day」は、欧州婦人科腫瘍学会 (ESGO) の一部である ENGAGe が主導するものです。

毒蛇咬傷：被害半減を目指すデータ構築

WHO の蛇毒情報・データ構築は、2030 年までに蛇毒による死亡者数と障害者数を半減させるという、世界目標の達成を促進するものです。

メンタルヘルスアクションプラン 2013 - 2030

「メンタルヘルスアクションプラン 2013 - 2020」が更新され、2030 年まで延長した計画が発表されました。

気候変動と並ぶ大気汚染の健康リスク 新大気質ガイドライン発行

WHO の新しい大気質ガイドライン (AQG) は、大気汚染物質の濃度を下げること、人々の健康を守ることができる大気品質レベルを推奨しています。

偽情報を見分けるためのゲーム Go Viral

GO VIRAL ! は、COVID-19 の誤った情報からあなたを守るために役立ちます。

WHO：国連食料システム・サミットで新たな連携を発表

毎年、不健康な食生活が原因で 1,100 万人が亡くなり、さらに 42 万人が安全でない食品を摂取することで亡くなっています。

狂犬病を阻止するオンラインコース開始

狂犬病は完全に予防可能な病気であるにもかかわらず、中低所得国では 9 分ごとに誰かが狂犬病で亡くなっています。

熱帯病 (NTDs) 患者の治療が大幅に低下

顧みられない熱帯病 (NTDs) に対する保健サービスが深刻な混乱に陥っています。

COVID-19 サミット：ワクチンなど公平な供給を再確認

2021 年に世界人口の 40 %、2022 年に世界人口の 70 % にワクチンを接種するこ

となどのグローバル目標が合意されました。

WHO：抗体カクテル療法の価格交渉と普及

WHO は新型コロナウイルス感染症の治療指針を改訂するに伴い、抗体カクテル療法を推奨しています。

パンデミックに負けず、子どもたちに希望を与える物語

新しい本は、COVID-19 のパンデミックの間でも、子どもたちが希望を持って前向きに生きることを目的として発刊されました。

WHO アカデミー起工式 (リヨン)

マクロン大統領とテドロス事務局長が出席し、リヨンのバイオメディカル地区で WHO アカデミーキャンパスの起工式が行われました。

SDG3-GAP、2 周年記念ビデオ

SDG3 GAP (グローバルアクションプラン) は、2030 年までに、各国が健康関連の目標達成ができるように支援する、多国間機関が結束したパートナーシップの枠組みです。

WHO 髄膜炎戦略：年間 20 万人の救命を目標

2030 年までに、この細菌性髄膜炎の流行をなくし、死亡者数を 70 % 削減し、患者数を半減させることを目標とした初の世界戦略を打ち出しました。

9月のWHOファクトシート改訂項目

以下のファクトシートが改訂されています。詳しくは当協会のファクトシートのサイトをご覧ください。
<https://japan-who.or.jp/wp-content/themes/rewho/img/PDF/library/newsrlsbk/who-releases-2021september>

・難民移住者のメンタルヘルス、 ・認知症、 ・うつ病、 ・がん、 ・家庭の空気汚染と健康

10月

October

新型コロナウイルス感染症(covid-19)に関するニュース等の日本語版は、WHO神戸センターの「WHO公式情報特設ページ」をご覧ください。

WHO 事務局長が謝罪の記者会見：コンゴ民主共和国における職員の性的虐待事件

WHO の職員がコンゴ民主共和国で性的虐待に及んでいたとされる問題について、テドロス事務局長は独立調査委員会の報告を受け、被害者に対し謝罪し、責任をとることを約束しました。

WHO：必須医薬品リストに糖尿病とがん治療薬を掲載

WHO は、「必須医薬品モデルリスト」および「小児用必須医薬品モデルリスト」の新版を発表しました。

WHO 西太平洋地域を最も健康な地域に

WHO 西太平洋地域事務局は年間活動報告を発表しました。

妊産婦死亡を防ぐ世界目標

WHO と国連人口基金は、妊産婦死亡の削減に向けた重要な 5 つのターゲットを発表しました。

WHO、待望のマラリアワクチン接種へ

WHO は、RTS, S マラリアワクチンの広範な使用を推進します。

WHO、家庭用エネルギー政策データベースを公開

WHO はストックホルム環境研究所と共同で、家庭でのエネルギー利用に影響を与える政策、規制、法律を「家庭用エネルギー政策リポジトリ」としてまとめました。

緩和ケア：不足する現状と高まる需要

WHO は、緩和ケアサービスの質を向上させるために、各国を支援するテクニカルレポートとテクニカルブリーフを発表しました。

メンタルヘルス行動計画を2030年まで延長

WHO が発表した新しい報告書「メンタルヘルス・アトラス」は、パンデミックにより必要なメンタルヘルスサービスが世界的に提供されていない状況を示しています。

WHO と国連：ワクチンの世界公平分配呼びかけ

国連とWHOは「ワクチン世界戦略」として、接種率を今年中に全ての国で人口の 40 % に、来年半ばまでに 70 % に引き上げるとの共同目標を発表し、ワクチン分配格差の解消を訴えました。

WHO：気候変動はSDGsの最大の隘路

国連気候変動会議 (COP26) に先立ち、WHO は、「気候変動と健康に関する WHO COP26 特別報告書」を発表しました。

国際ガールズ・デー (10月11日) とデジタルソリューション

国際ガールズ・デーは、世界中の女の子の重要性、パワー、可能性を称え、彼女たちが直面する問題に注目する日です。

逆境を生き抜くストレスマネジメント

SSelf-Help Plus は、逆境を経験している人々のためのストレスマネジメントコースです。

故 ヘンリエッタ・ラックス 氏の名誉回復

ヘンリエッタ・ラックスの生誕 100 周年を迎えた昨年は、WHO の「子宮頸がんの撲滅を加速するための世界戦略」の初年度にあたります。

新規病原体の起源に関する科学諮問グループのメンバー決定

WHO は、新規病原体の起源に関する WHO 科学諮問グループ (SAGO) のメンバー 26 名を決定しました。

パンデミックで結核死亡者数が増加 – 世界結核報告書

パンデミックにより、結核対策における長年の世界的な進展が滞り、10 年以上ぶりに結核による死亡者数が増加しました。

一人年間 1 ドルの手指衛生投資で数十万人の命のリターン

世界の後発開発途上国 46 カ国では、2030 年までに、一人当たり年間 1 米ドル以下の投資を行えば、すべての家庭

注) 本サマリーは、WHO 発信情報のインデックスとして役立てて頂くよう標題及び冒頭部分を仮訳しているものです。詳細内容については、QRコードを利用して、日本WHO協会のホームページ経由で、ニュースリリース、声明、メディア向けノートなどの原文にアクセスできます。



に手洗い設備を備えることができます。

眼科ケア状況の分析ツールを改訂

世界視力デーの 10 月 14 日、WHO は眼科ケア状況分析ツール (ECSAT) の改訂版を発表しました。

WHO : アフリカのパンデミックは公式発表の 7 倍

アフリカでは COVID-19 の感染者が 14.2 % (7 人に 1 人) しか検出されていないというのが実態です。

強固な医療システム構築に関する政策提言

WHO は、プライマリーヘルスケアを基盤とし、強固な保健医療システムの構築に関する 7 つの政策提言を発表しました。

WHO : 身体活動の環境整備と健康な生活

WHO は、政策決定者に対し、身体活動を促進するプログラムやサービス、そして安全な環境の整備を早急に拡大するよう呼びかけました。

COVID-19 で医療・介護従事者が最大 18 万人死亡 (推定)

国際医療従事者年運営委員会は、中低所得国の医療・介護従事者を保護するための即時かつ具体的な行動を求めています。

熱帯病の治療資源がパンデミックでひっ迫

COVID-19 のパンデミックとの戦いが続く中、顧みられない熱帯病の治療やケアに中断や遅延が生じています。

最新の結核データをポケットに！

2021 年世界結核レポートに沿った最新の統計や必要なデータをすぐに見つけることができ、197 の国と地域のデータを探索し、対話することができます。

WHO 続報 : コンゴ民主共和国の性的虐待事件の対応計画

WHO は、コンゴ民主共和国で発生した WHO 職員による一般人への性的虐待および搾取の疑惑に対して、管理対応計画を発表しました。

パンデミックはまだ終わっていない、WHO の世界規模の再構築を : テドロス事務局長

WPRO 地域委員会においてテドロス事務局長は、協調的で一貫性のあるアプローチやワン・ヘルス、資金調達の不均衡是正について述べました。

パンデミックにエコシステム的なアプローチを : 世界保健サミット

テドロス事務局長は、世界保健サミット

のパネルディスカッションで、パンデミックに対応するエコシステムのアプローチについて述べました。

COVID-19 パンデミックに対する勧告 (IHR 緊急委員会)

第 9 回緊急委員会が開催され、テドロス事務局長は引き続き緊急事態 (PHEIC) の継続を決定しました。

トップエコノミスト : 万人の健康のために経済の抜本的な見直しを求める

G20 サミットに向けて、WHO の「万人のための健康の経済学に関する評議会」は、健康への資金調達を短期的なコストではなく長期的な投資と考えるよう呼びかけています。

出版 : 「健康という政治的選択課題 : 連帯、科学、そして解決策」

この本は、健康と保健における公平さを改善するためのグローバルな行動と多国間の協力を恒久的に強化するための機会を提供します。

WHO : コロナ飲み薬モルヌピルのライセンス契約を歓迎

WHO と Unitaid は、医薬品特許プールとメルク社が自主的なライセンス契約を締結したことを歓迎しました。

10月のWHOファクトシート改訂項目

以下のファクトシートが改訂されています。詳しくは当協会のファクトシートのサイトをご覧ください。
<https://japan-who.or.jp/wp-content/themes/rewho/img/PDF/library/newsrlsbk/who-releases-2021october>
・環境大気(屋外)の質と健康、・髄膜炎、・高齢者の虐待、・高齢者と健康、・鉛中毒と健康、
・失明と視力障がい、・結核